

ELMO

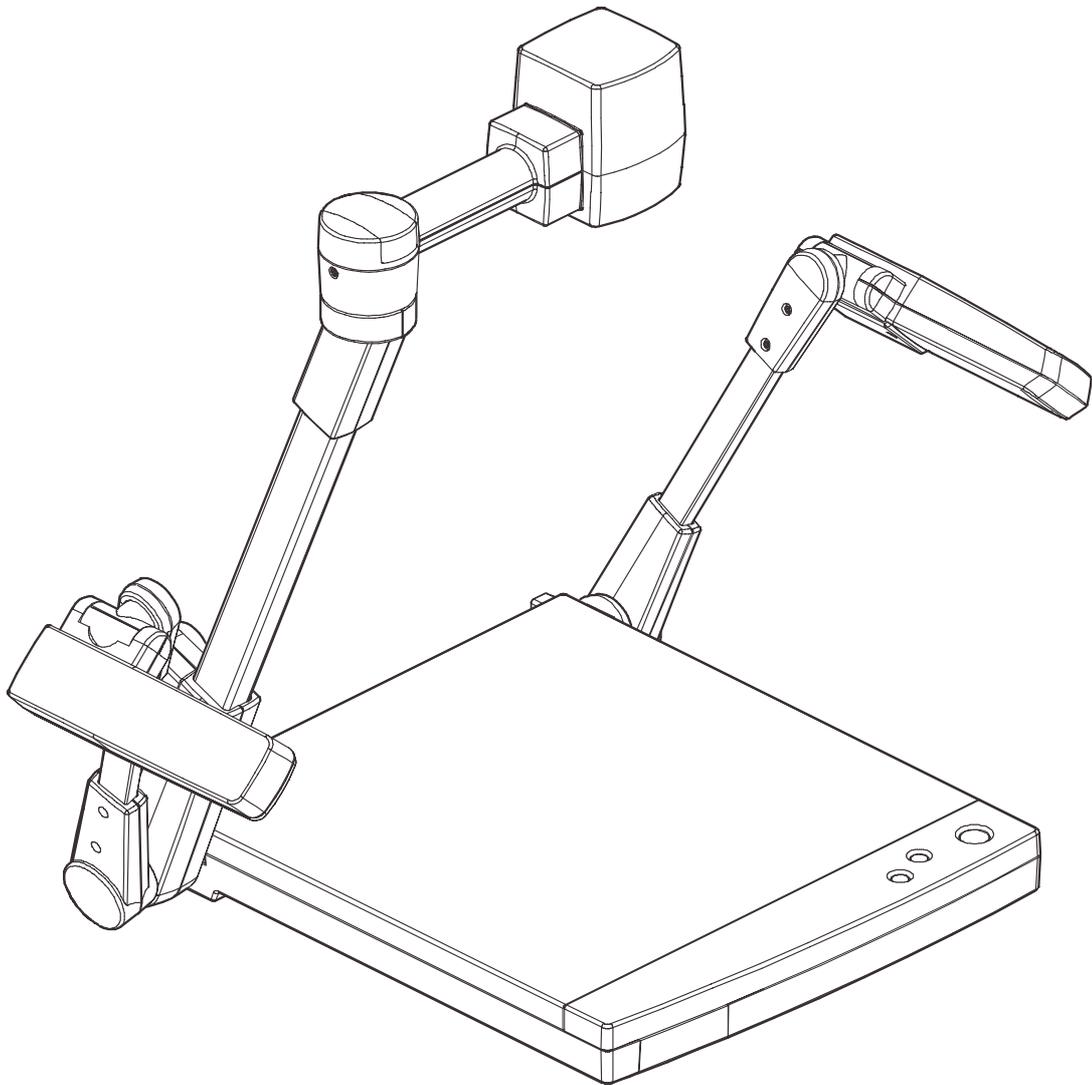
ビジュアルプレゼンター

HV-400XG (液晶モニター付)

HV-400XG(E)

取扱説明書

VISUAL PRESENTER



ご使用に先だち取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保存してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために 必ずお守りください

この「安全上のご注意」は、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

ご使用前によく読んで大切に保管してください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味



名称：注意

意味：注意しなければならないことを示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。



名称：禁止

意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。



名称：風呂場・シャワー室での使用禁止

意味：製品を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的内容が描かれています。



名称：接触禁止

意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的内容が描かれています。



名称：分解禁止

意味：製品を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的内容が描かれています。



名称：強制

意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。



名称：電源プラグをコンセントから抜け

意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので、図の中に具体的内容が描かれています。

警告

万一、煙が出ている、変なおいや音がするとき、すぐに機器本体のスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜く。
異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙などが出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
ただちに販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
ただちに販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。(特にお子様のいるご使用環境ではご注意ください。)



万一、画面が映らない、音が出ないなどの故障の場合には、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
それから販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一、機器を落としたり、キャビネットなどを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
それから販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは外さない。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。



この機器を改造しない。
火災・感電の原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



表示された電源電圧（交流100V）で使用する。
表示された電源電圧以外では火災・感電の原因となります。



警告

この機器に水や異物を入れたり、ぬらさない。
火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。
コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。(コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。)



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。
コードが破損して、火災・感電の原因となります。



風呂場、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因となります。



電源プラグの刃や取付面にほこりが付着している場合は、機器本体の電源スイッチを切り電源プラグを抜いてから、ほこりを取り除く。
電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。



雷が鳴り出したら本体、接続ケーブル、電源プラグなどには触れない。
感電の原因となります。



注意

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
外部の接続コードを外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



お手入れや蛍光灯交換の際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いて、ランプや機器が熱くないことを確認してから行う。
また、ランプは指定のものをお使いください。感電・火傷・火災の原因となることがあります。



この機器を長時間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



キャスター付きの台に機器を設置する場合にはキャスター止めをする。
動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気・水滴が当たるような場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。



この機器に乗ったり、重いものを乗せない。
特に、小さなお子様のいるご使用環境ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



電源コードを熱器具に近づけない。
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



電源プラグは根元まで差し込んでみがあるコンセントに接続しない。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



使用上のご注意

本機は日本国内用に作られたものです。必ずAC100V、50Hzまたは60Hzでお使いください。

電源の異なる外国ではご使用になれません。

保管にあたっては直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。

変色、変形、故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所、潮風の当たる場所、振動の多い所には置かないでください。

使用上の環境条件は次のとおりです。

温度：5 ～ 40 湿度：30%～85%以下（結露しないこと）

本機の清掃は、乾いたやわらかい布で拭いてください。

シンナーやベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。

カメラレンズを直接太陽に向けしないでください。撮影不能になることがあります。

乾電池についてのご注意

- ・長時間使用しないときは、取り出してください。
- ・充電式乾電池（Ni-Cd）は使用しないでください。
- ・新旧、異種の乾電池を混用しないでください。
- ・充電したりショートさせたりしないでください。

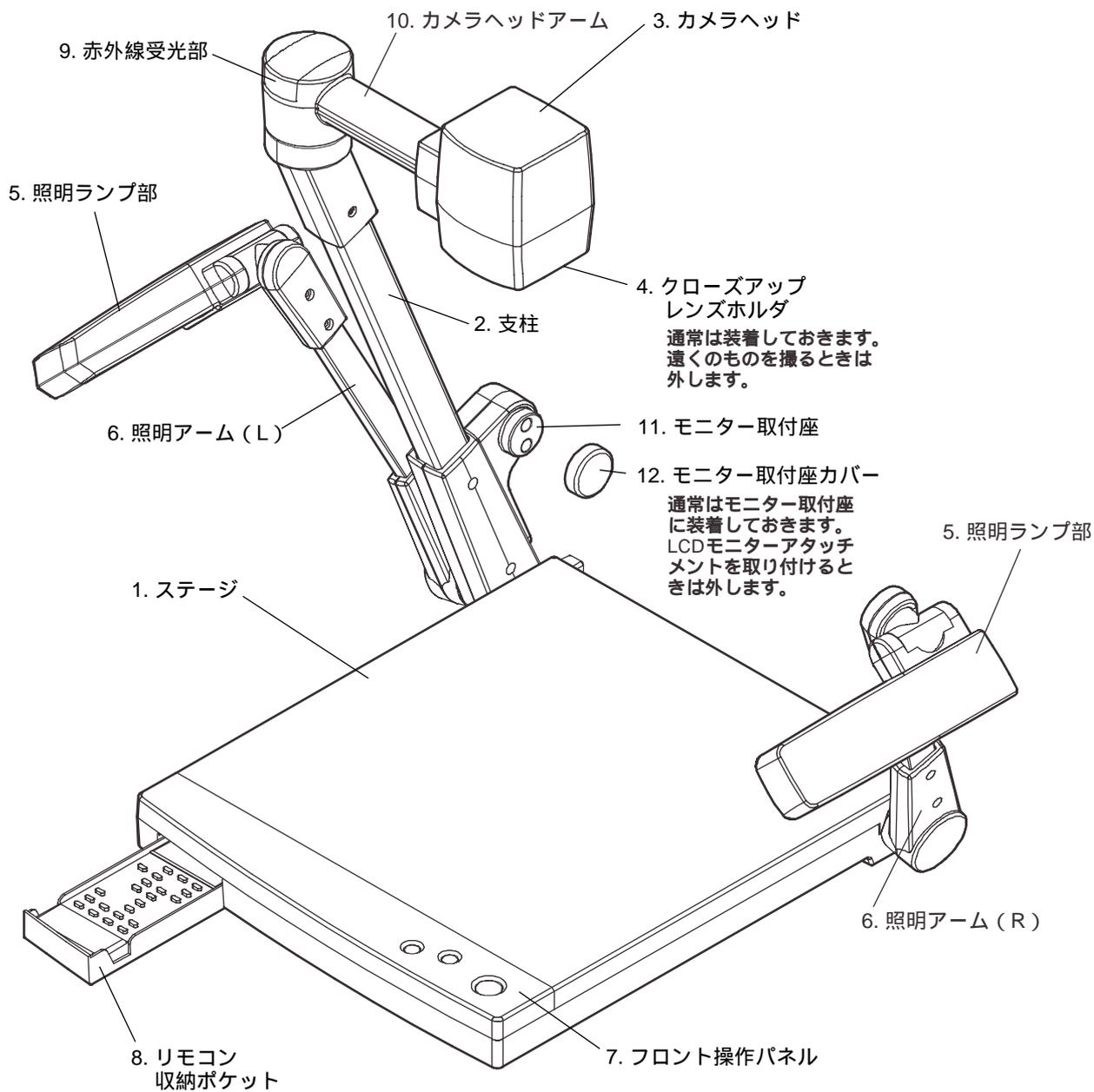
もくじ

1. 各部の名称	8
外観	8
フロント操作パネル	9
背面パネル	9
ワイヤレスリモコン	11
支柱	12
2. ワイヤレスリモコンについて	13
準備	13
3. マウスについて	13
4. 本体のセットアップ	14
本体の準備	14
モニター、プロジェクターとの接続	15
RGB入力信号について	16
RGB出力信号について	16
5. 資料提示の操作手順	17
印刷物などの資料を提示する場合の簡単な操作手順	17
カメラとして使用するとき	17
6. 本体の収納	18
7. 各種機能	19
照明	19
ズーム	19
ビデオポインター	20
フォーカス	20
アイリス	21
フリーズ	22
オートホワイトバランス	22
LCDモニター取付座について	22
LCDモニター出力端子への接続について	23
パソコンリンクソフト「Image Mate for HV-400XG / 3000XG / 3500XG」について	23

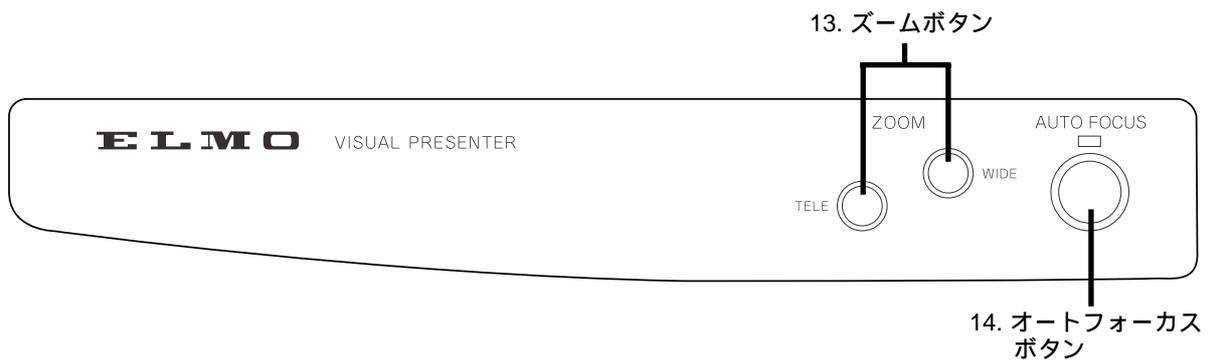
8. OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ)	24
OSDメニューの表示とマウス操作について	24
OSDメニュー	25
9. RS-232C通信	27
セットアップ	27
接続ケーブルの結線	27
RS-232Cコネクタ仕様 (DSUB-9P)	28
データフォーマット仕様	28
通信仕様	29
通信コマンド一覧	29
10. 蛍光ランプの交換	30
11. 故障かな?と思ったら	31
12. 仕様	32
総合仕様	
カメラ部仕様	
照明装置	
付属品	

1. 各部の名称

外観

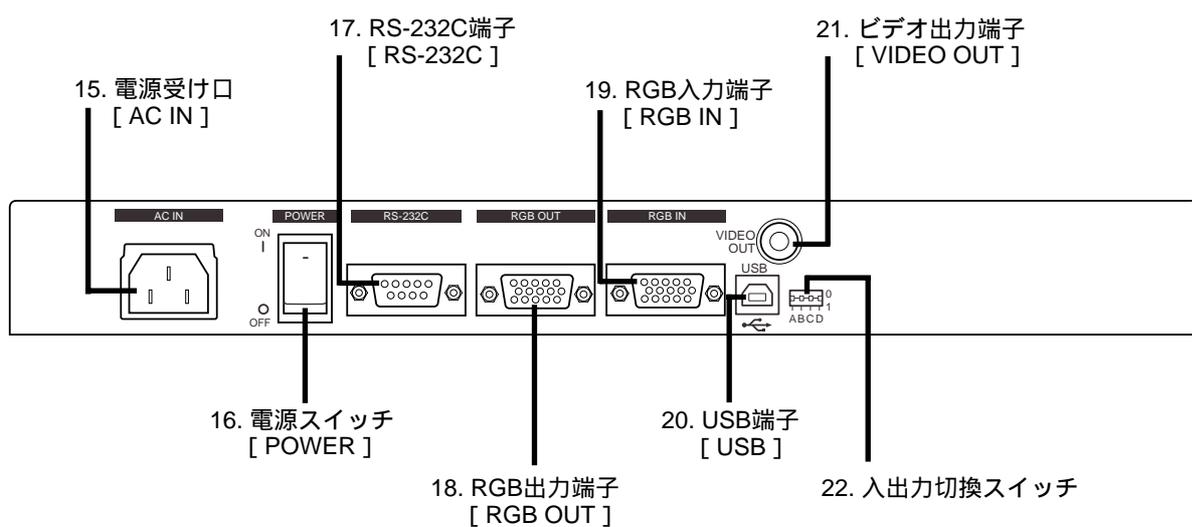


フロント操作パネル



	名称	働き	参照ページ
13.	ズームボタン	映像のサイズを変えるときに使用します。	P.19, P.20
14.	オートフォーカスボタン	自動でピント合わせをするときに使用します。 ワンショットオートフォーカス方式 (FOCUSFREE) です。	P.17, P.20

背面パネル

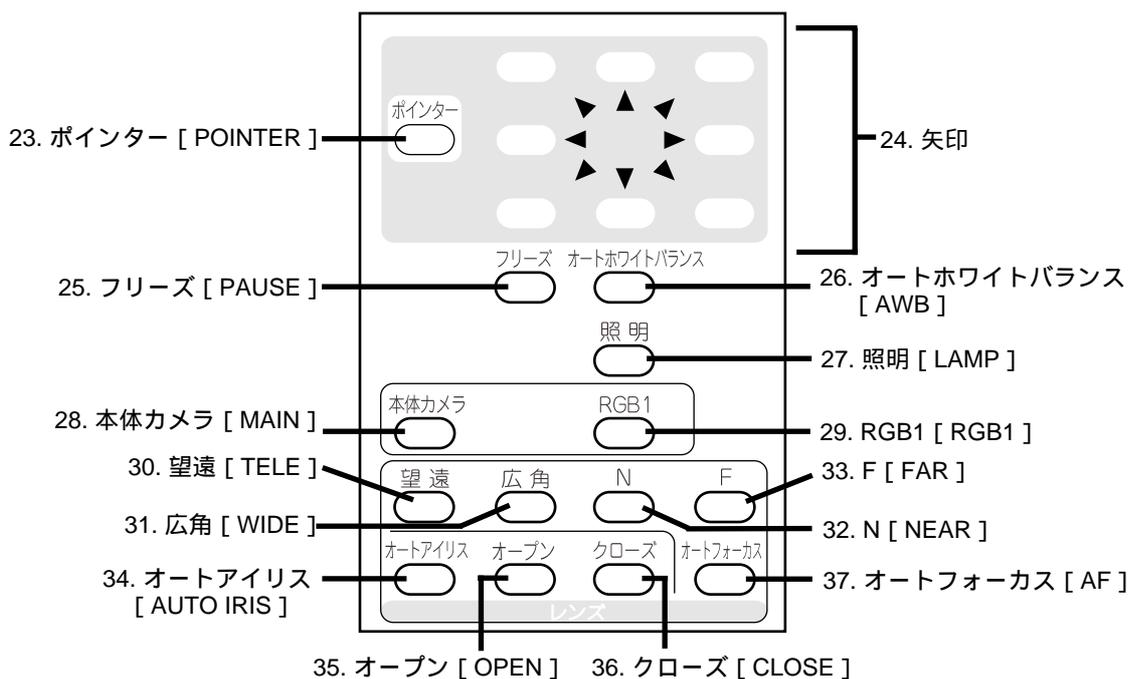


	名称	働き	参照ページ
15.	電源受け口 [AC IN]	電源コードコネクタ差し込み口です。	-
16.	電源スイッチ [POWER]	電源のON / OFFを行います。	P.17
17.	RS-232C端子 [RS-232C]	コンピュータと通信を行うときの、RS-232Cケーブル差し込み口です。 入出力切換スイッチ [D] キーによって、 ・ RS-232Cによる外部からの本体制御 ・ 付属マウス使用 の一方が可能となります。	P.27
18.	RGB出力端子 [RGB OUT]	液晶プロジェクターやマルチシンクモニターなどRGB入力機器に接続すると、映像が出力されます。	P.15
19.	RGB入力端子 [RGB IN]	入力選択がRGB1のときにこの端子から映像がRGB出力端子 [RGB OUT] より出力されます。	-
20.	USB端子 [USB]	USBケーブルの差し込み口です。 付属のUSBケーブルを接続し、付属のCD-ROM「Image Mate for HV-400XG / 3000XG / 3500XG」で画像取込や本体の制御が行えます。	P.23
21.	ビデオ出力端子 [VIDEO OUT]	モニターなどに接続します。	P.15
22.	入出力切換スイッチ	次の通りの入出力切換えが行えます。 [A] キー RGB出力端子 [RGB OUT] からの映像出力の切換えを行います。 ・ XGA出力 ・ TV出力 [B] キー TV出力の切換えを行います。 ・ NTSC ・ PAL [C] キー シャッターの切換えを行います。 シャッターの電源周波数が50Hzの地域（関東地方など）では、蛍光灯・水銀灯などの交流放電管照明による画面のチラツキ（フリッカー現象）が出る場合があります。スイッチを50Hz側に切換えると、このチラツキを軽減できる場合があります。 ・ 60Hz ・ 50Hz [D] キー RS-232Cの切換えを行います。 ・ マウス使用 ・ 本体制御	P.13, P15

キー配列と機能

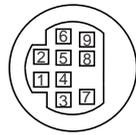
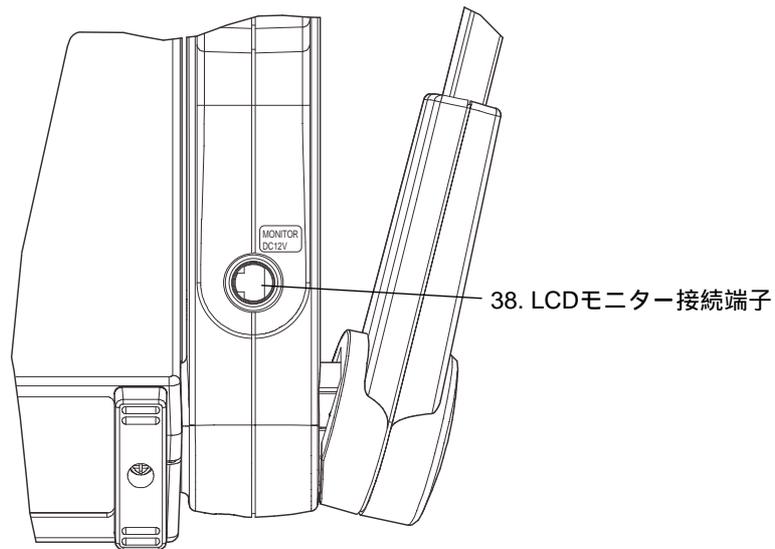
	A	B	C	D
0	XGA	NTSC	60Hz	マウス
1	TV	PAL	50Hz	制御

ワイヤレスリモコン



	名称	働き	参照ページ
23.	ポインター [POINTER]	画面上にビデオポインターを表示するときに使 用します。	P.20
24.	矢印	ビデオポインター表示中にポインターの移動に使 用します。	P.20
25.	フリーズ [PAUSE]	映像を一時的に静止させるときに使用します。	P.22
26.	オートホワイトバランス [AWB]	自動でホワイトバランスを取るときに使用しま す。	P.22
27.	照明 [LAMP]	照明のON / OFFに使用します。	P.19
28.	本体カメラ [MAIN]	RGB出力端子 [RGB OUT] の映像出力を本体カメ ラ映像へ切換えるときに使用します。	-
29.	RGB1 [RGB1]	RGB出力端子 [RGB OUT] の映像出力を映像入力端 子 [RGB IN] の映像へ切換えるときに使用しま す。	-
30.	望遠 [TELE]	望遠側へズーミングするときを使用します。	P.17, P.19, P.20
31.	広角 [WIDE]	広角側へズーミングするときを使用します。	P.17, P.19
32.	N [NEAR]	ピントを手前側へ移動するときを使用します。	P.21
33.	F [FAR]	ピントを遠方側へ移動するときを使用します。	P.21
34.	オートアイリス [AUTO IRIS]	自動アイリスにするときに使用します。	P.21
35.	オープン [OPEN]	任意にアイリスを開くときに使用します。	P.21
36.	クローズ [CLOSE]	任意にアイリスを閉じるときに使用します。	P.21
37.	オートフォーカス [AF]	自動でピント合わせするときを使用します。	P.17, P.20

支柱



ミニ DIN 9P (メス)

1	VIDEO OUT
2	GND
3	NC
4	NC
5	NC
6	NC
7	+ 12V
8	GND
9	CONT.

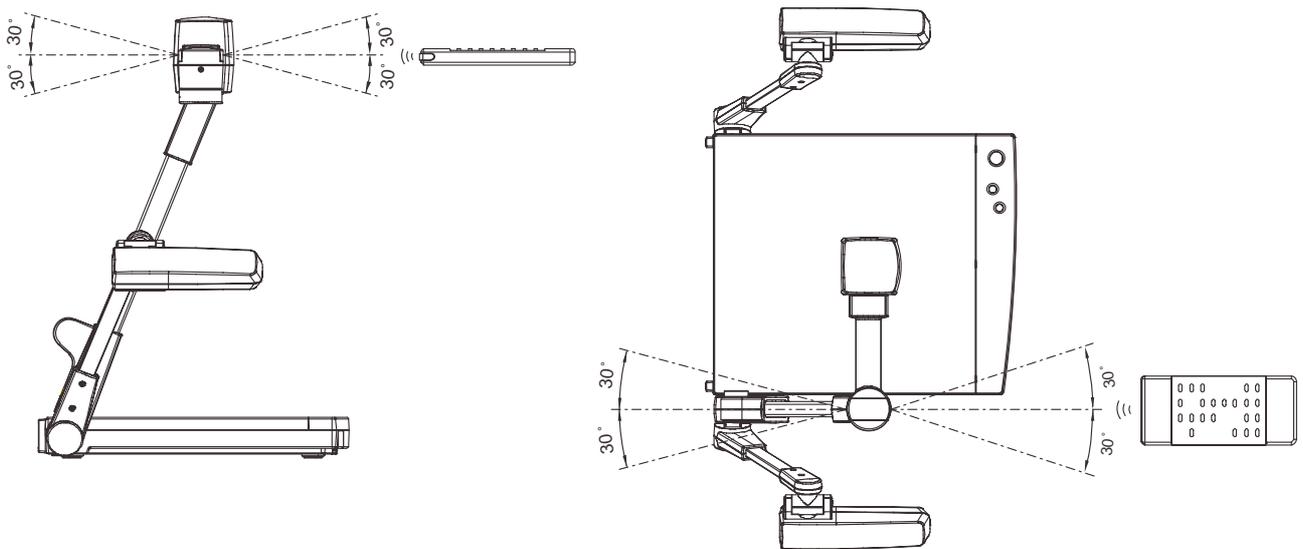
	名称	働き	参照ページ
38.	LCDモニター接続端子	<p>LCDモニターに映像とDC12Vを出力します。 付属のLCDモニター接続ケーブルを使用することにより、LCDモニター（LM-5011N）を接続できます。 [注] LM-5011N以外の機器は接続しないでください。 [注] HV-400XG（E）にはLCDモニター、LCDモニターアタッチメント、LCDモニター接続ケーブルは付属してありません。</p>	P.23

2. ワイヤレスリモコンについて

赤外線発光部を本体の受信部に向けて希望の動作のボタンを押します。
太陽光やインバータ蛍光灯の近く等、周囲の状況により受信可能範囲が短くなることがあります。
また蛍光灯等の条件により受信しないことがあります。その場合は受信側の設置場所を変更するなどの対処をしてください。

受信可能範囲

- 距離 : リモコン受光部正面から約7m以内
角度 : リモコン受光部から上下左右約30°以内



準備

裏面の電池ケースカバーを、[]マーク部分を押し下げながら矢印の方向にずらして外します。
電池ケース内の表示の向きに従って、単4乾電池2個を入れます。

[注] + - の極性は指示通り正しく入れてください。

[注] 乾電池の寿命は使用条件、種類により異なりますが、約1年で新しいものと交換してください。

[注] 付属の乾電池は、動作確認用のものですので、有効使用期間は保証されません。

3. マウスについて

入出力切換スイッチの[D]キーにおいて、[0]を選択し、背面パネルのRS-232C端子にマウスを接続します。これにより「OSD」「ビデオポインター」の表示および操作ができます。

参照	・ビデオポインター	P.20
	・OSDメニューの表示と マウス操作について	P.24

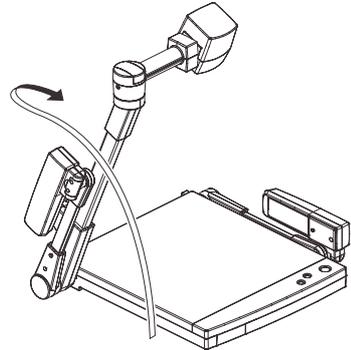
4. 本体のセットアップ

本体の準備

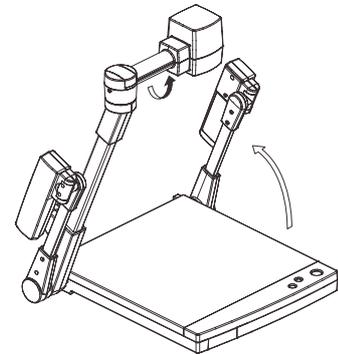
- (1) 支柱を起こします。
右図のように支柱を一度起こしきってから、支柱にロックがかかるまで戻します。

[注] 照明アーム(L)部は単独で起こすことができません。

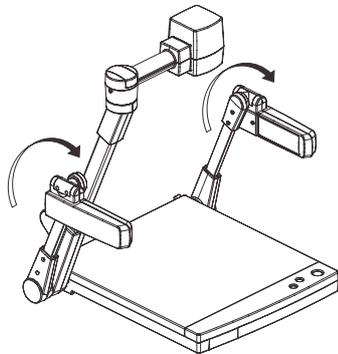
[注] 支柱を起こしきらないと、支柱にロックがかからない場合があります。



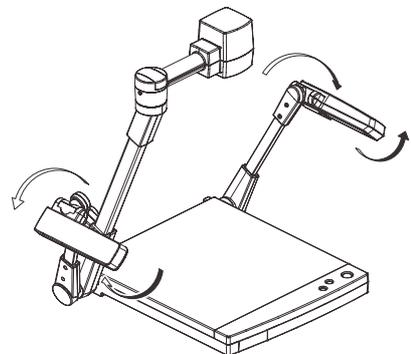
- (2) 照明アーム(R)部を起こし、カメラヘッドを回転させ、レンズ部をステージの方へ向けます。



- (3) 照明ランプ部を回転させます。



- (4) 照明アーム部、照明ランプ部を開きます。



- (5) 電源コードを本機の電源受け口およびコンセントに接続します。

モニター・プロジェクターとの接続

本機では、入出力切換スイッチによって映像出力の切換えを行えます。接続する環境に合わせてご使用ください。出荷時の設定は下表の通りです。

キー	機能	初期設定	
		キー選択	内容
A	映像出力の切換え	0	XGA出力
B	TV出力方式の切換え	0	NTSC
C	シャッターの切換え	0	60Hz
D	RS-232Cの切換え	0	マウス使用

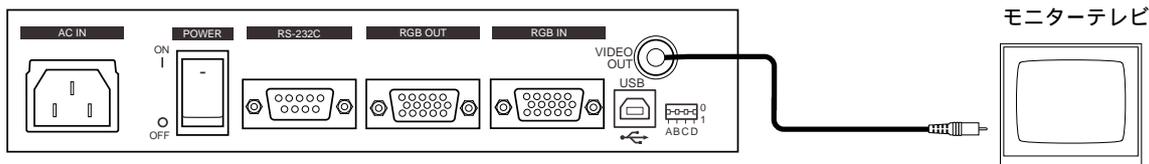
[注] 本機および接続する周辺機器を保護するため、接続するときは必ずすべての機器の電源スイッチをOFFにしてください。

[注] 入出力切換スイッチのキーを切換えるときは、必ず本機電源スイッチをOFFにしてください。

[注] ビデオケーブルを抜き差しするときは、ケーブルのプラグを持ってください。

コンポジットビデオ入力端子を持つ機器との接続

本機ビデオ出力端子 [VIDEO OUT] と付属のRCAピンプラグ付きビデオケーブルで接続してください。



[注] ビデオ出力端子 [VIDEO OUT] からの出力映像は、本体カメラ映像のみです。

RGBビデオ入力端子を持つ機器との接続

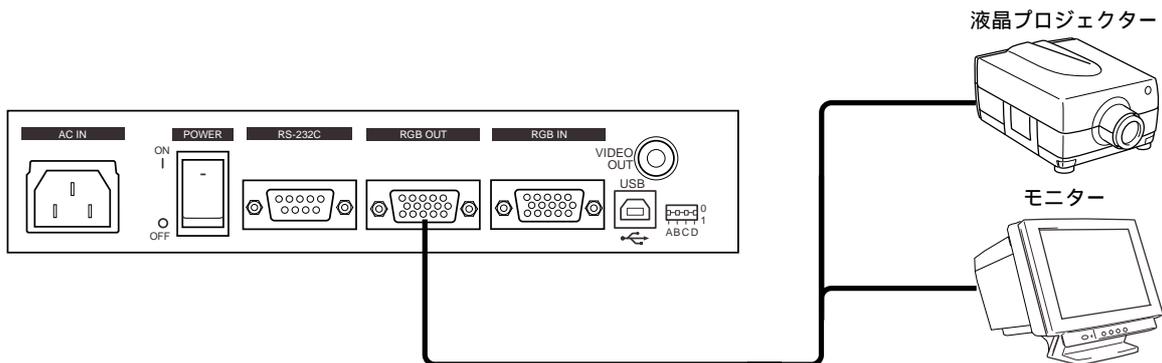
本機RGB出力端子 [RGB OUT] と、RGBビデオ入力端子を持つ機器を付属のアナログRGBケーブルまたは市販の接続ケーブルで接続します。

このとき、表示の位置が中心からずれることがあります。接続した機器側で水平、垂直位置のマニュアル調整してください。

また、液晶プロジェクターでは、画面に縦縞が現われることがあります。プロジェクター側のドットクロック周波数をマニュアル調整することで、軽減することができます。

[注] 接続機器がR・G・B・H・Vの5つの接続を要するものの場合、入出力切換スイッチの [A] キーは [XGA] を選択してください。

また、接続機器がR・G・Bの3つの接続のみ要するもの場合、入出力切換スイッチの [A] キーは [TV] を選択してください。

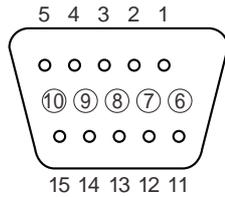


RGB入力信号について

信号割付

ピンNo.	名称	ピンNo.	名称	ピンNo.	名称
1	映像信号(赤)	6	GND(赤)	11	GND
2	映像信号(緑)	7	GND(緑)	12	N.C
3	映像信号(青)	8	GND(青)	13	水平/複合同期信号
4	N.C	9	N.C	14	垂直同期信号
5	GND	10	GND	15	N.C

端子配列



DSUB 15P シュリンク端子
(メス)

入力信号

映像信号	アナログ	0.7V(p-p)	75 終端
水平同期信号	TTLレベル	(正/負極性)	
垂直同期信号	TTLレベル	(正/負極性)	
複合同期信号	TTLレベル	(正/負極性)	

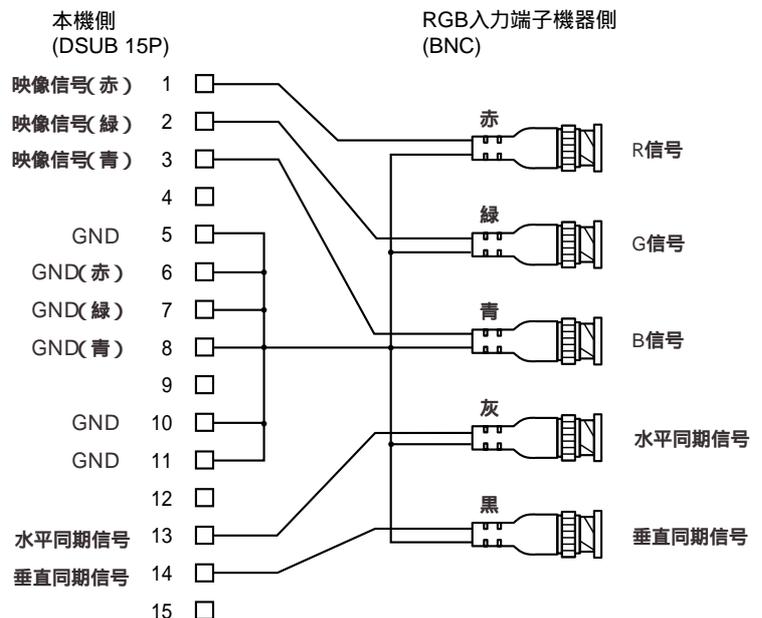
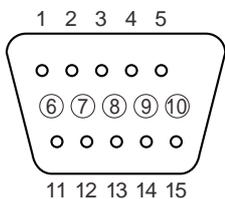
RGB出力信号について

信号割付

ピンNo.	名称	ピンNo.	名称	ピンNo.	名称
1	映像信号(赤)	6	GND(赤)	11	GND
2	映像信号(緑)	7	GND(緑)	12	N.C
3	映像信号(青)	8	GND(青)	13	水平同期信号
4	N.C	9	N.C	14	垂直同期信号
5	GND	10	GND	15	N.C

端子配列とアナログRGBケーブルの結線

DSUB 15P シュリンク端子
(オス)



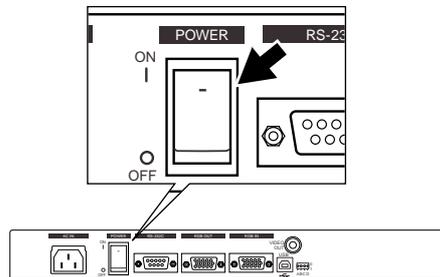
5. 資料提示の操作手順

印刷物などの資料を提示する場合の簡単な操作手順

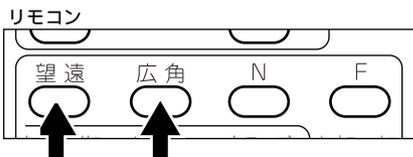
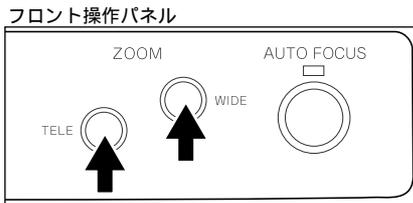
(1) 電源スイッチをONにします。

[注] モニターとの接続は前もって行ってください。

[注] 電源スイッチをOFFにした直後にONにした場合は、本機が作動しないことがあります。再起動の場合は、数秒おいてから電源スイッチをONにしてください。

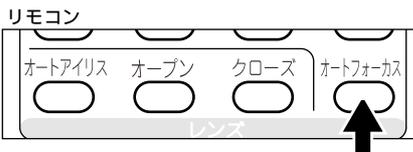
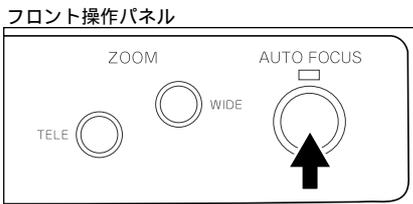


(2) ステージ面に被写体を置き、被写体の大きさに応じてモニター画面を見ながらフロント操作パネルまたはリモコンの【望遠】(TELE)・【広角】(WIDE) ボタンで画像のサイズを調整します。



(3) フロント操作パネルの【AUTO FOCUS】ボタンまたはリモコンの【オートフォーカス】(AF) ボタンを押し、ピントを合わせます。

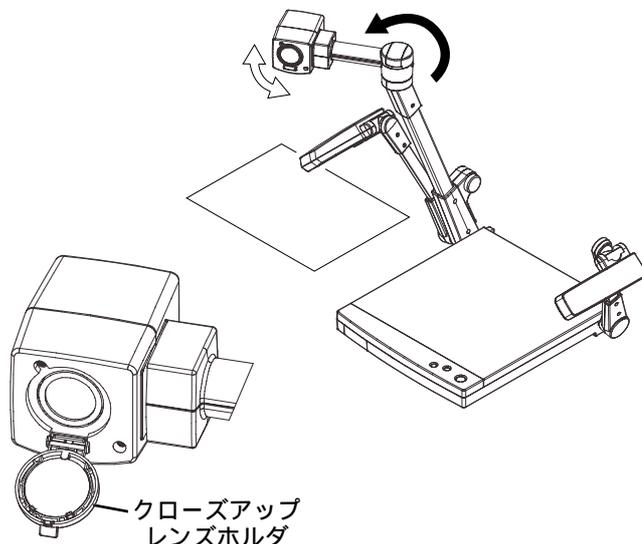
[注] ピントが合う範囲は、ズーム【望遠】(TELE) 最大側でステージから約15cmの高さまでです。(クローズアップレンズが装着されている状態)



カメラとして使用するとき

カメラヘッドアームを図のように回転させれば、ステージの外の資料が撮影できます。また、カメラヘッド部を水平位置にセットすれば、壁面・遠景等が撮影できます。被写体が遠距離のときは、クローズアップレンズホルダを手前へ開きます。

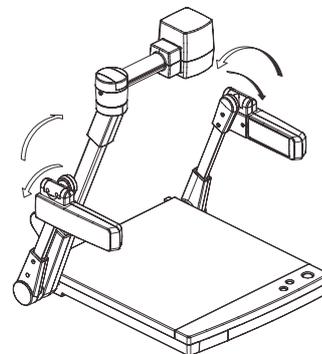
参考 0.5m ~ にピントが合います。



6. 本体の収納

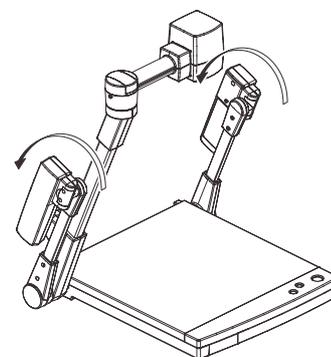
- (1) 電源スイッチをOFFにして、電源コードおよびビデオケーブルを抜きます。

- (2) 照明ランプ部、照明アーム部を閉じます。



- (3) 照明ランプ部を右図の位置まで回転させます。

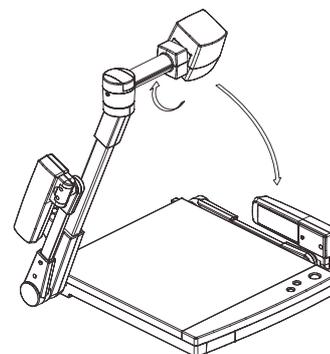
[注] 照明ランプ部は必ず右図の位置にしてください。ほかの位置で収納しますと、照明ランプ部を傷めることがあります。



- (4) 照明アーム (R) 部を倒し、カメラヘッドを右図の位置 (カメラヘッドを背面パネル側へ少し回転させた状態) まで回転させます。

[注] 照明アーム (L) を単独で倒すことはできません。

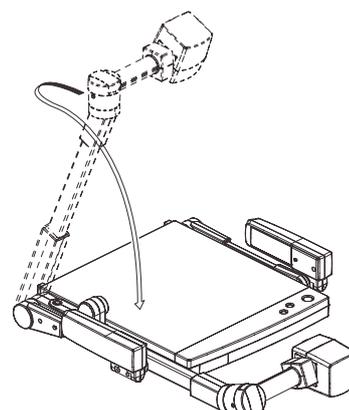
[注] カメラヘッドは必ず右図の位置にしてください。ほかの位置で収納しますと、カメラヘッドやレンズをいためることがあります。



- (5) 支柱を一度起こしきってから支柱を倒します。

[注] 支柱は右図の位置が所定の収納状態です。絶対に無理な力を加えないでください。

[注] 持ち運びの際には、ヘッドアーム部を持たないでください。



7. 各種機能

照明

印刷物などの資料を提示するための照明が標準装備されています。

リモコンの[照明](LAMP)ボタンを1回押しごとに、L側ランプのみ点灯 L側・R側ランプ消灯 L側・R側ランプ点灯、を繰り返します。

参照 OSDメニュー P.25

参考 L側ランプのみ点灯した状態でR側照明ランプ部を収納すると、大きい資料を有効に移動することができます。

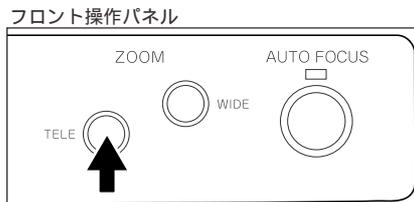
[注] 照明ランプは資料面の照度が不十分なとき、あるいは立体物を提示する場合にご使用いただきますと、演色性の良い鮮明な映像が得られます。



ズーム

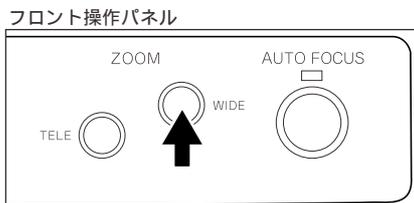
10倍の光学ズームが可能です。

フロント操作パネルの[TELE]ボタンまたはリモコンの[望遠](TELE)ボタンを押すと、映像のサイズが徐々に大きくなります。



フロント操作パネルの[WIDE]ボタンまたはリモコンの[広角](WIDE)ボタンを押すと、映像のサイズが徐々に小さくなります。

参照 OSDメニュー P.25



ビデオポインター

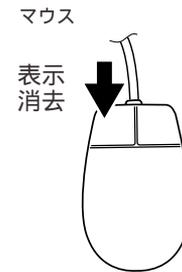
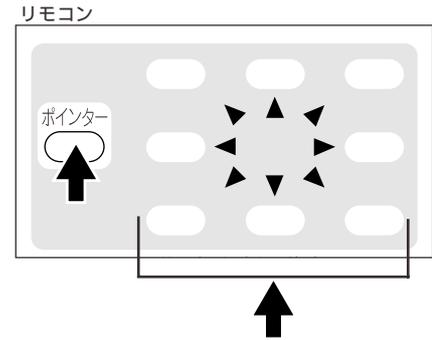
リモコンの [ポインター] (POINTER) ボタンまたはマウスの左クリックでビデオポインターを表示します。

リモコンの矢印ボタンまたはマウスでビデオポインターが移動します。

再度、リモコンの [ポインター] (POINTER) ボタンを押すか、マウスの左クリック (OSD の表示切替えも伴います) でビデオポインターは消えます。

- | | | |
|----|---------------|------|
| 参照 | ・ OSDメニューの表示と | |
| | マウス操作について | P.24 |
| | ・ OSDメニュー | P.25 |

[注] ビデオポインターは、RGB出力端子 [RGB OUT] の出力映像のみ表示されます。ビデオ出力端子 [VIDEO OUT] の出力映像には表示されません。



フォーカス

オートフォーカス

フロント操作パネルの [AUTO FOCUS] ボタンまたはリモコンの [オートフォーカス] (AF) ボタンを押すとオートフォーカス動作します。

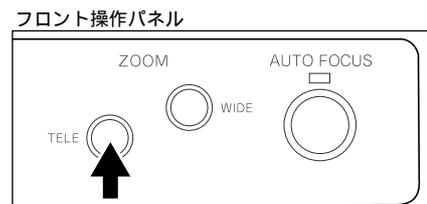
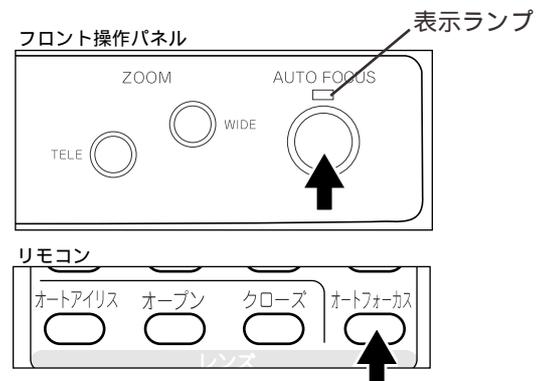
オートフォーカス動作中はフロント操作パネルの表示ランプが点滅し、被写体にピントが合うと点滅が終わります。

本機はワンショットオートフォーカス方式です。一度ピントが合うとオートフォーカス動作は解除されるので、その時のピント位置を維持します。

(FOCUSFREE)

フロント操作パネルの [TELE] ボタンまたはリモコンの [望遠] (TELE) ボタンを押して被写体の映像サイズを最も大きくした状態でオートフォーカスを動作させると、より高精度な映像になります。

- | | | |
|----|---------|------|
| 参照 | OSDメニュー | P.25 |
|----|---------|------|



下記のような被写体は、オートフォーカスではピントが合わない場合があります。この場合は、マニュアルフォーカスでピントを合わせてください。

- ・ 明暗の差（コントラスト）の少ない被写体
- ・ 横じま、格子模様など細かい繰り返しパターンの被写体
- ・ 輝いていたり強い光を反射して光っている被写体
- ・ 被写体の背景が明るいときや、明暗がはっきりしすぎているとき
- ・ 画面全体が暗いとき
- ・ 被写体が遠くと近くに共にあるとき
- ・ 動く被写体

オートフォーカス動作中にリモコンのマニュアルフォーカスポタン [N](NEAR)・[F](FAR) を押すと、オートフォーカス動作は解除されます。

[注] ピントが合う範囲は、ズーム [望遠](TELE) 最大側でステージから約15cmの高さまでです。(クローズアップレンズホルダが装着されている状態)



電動マニュアルフォーカス

立体資料などの任意の部分にピントを合わせる時に使用します。

リモコンのフォーカスポタン [N](NEAR)・[F](FAR) を押します。

参照 OSDメニュー P.25

[注] ピントが合う範囲はステージから約15cmの高さまでです。(クローズアップレンズホルダが装着されている状態)



アイリス

レンズのオートアイリスレベルを調整することができます。

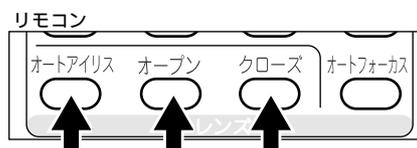
リモコンの [オープン](OPEN) ボタンを押すと、アイリスが開きます。

[クローズ](CLOSE) ボタンを押すと、アイリスが閉じます。

[オートアイリス](AUTO IRIS) ボタンを押すと、初期設定に戻ります。

参照 OSDメニュー P.25

[注] 画面の明るさが暗く感じるときは、リモコンの [オープン](OPEN) ボタンを押して、画面の明るさを調整してください。



フリーズ

リモコンの[フリーズ](PAUSE)ボタンを押すと、本体カメラの画像が静止します。
再度[フリーズ](PAUSE)ボタンを押すと、フリーズが解除されます。

参照 OSDメニュー P.25

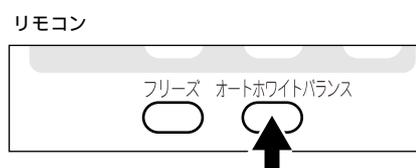
[注] フリーズ時に他の操作を行った場合、フリーズが解除されます。



オートホワイトバランス

リモコンの[オートホワイトバランス](AWB)ボタンを押すと、その時の色温度のホワイトバランスに自動調整します。

参照 OSDメニュー P.26



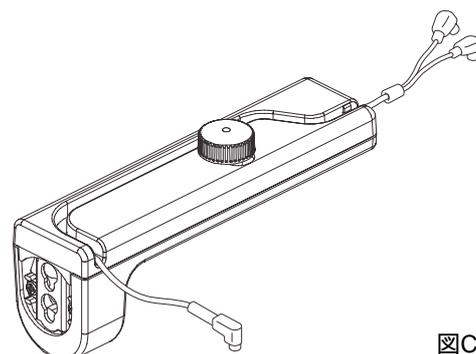
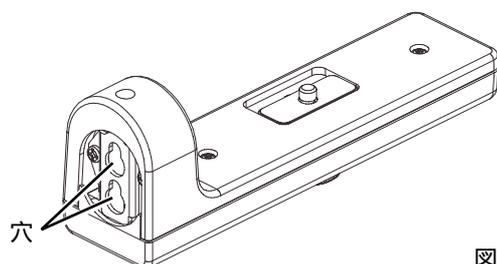
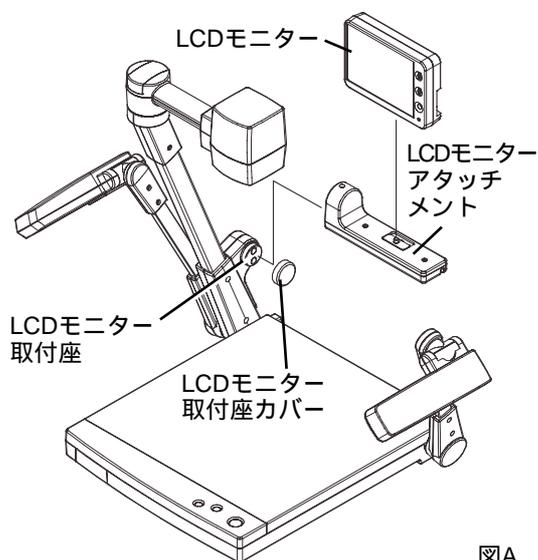
LCDモニター取付座について

LCDモニターを取り付けるときに、LCDモニターアタッチメントを本機に取り付けるための座です。

LCDモニターアタッチメントを取り付ける前に、LCDモニター取付座カバーを外してください。LCDモニターアタッチメントの穴(図B)とLCDモニター取付座のピンを合わせて、LCDモニターアタッチメントを押しつけながら下にスライドさせて取り付けてください。(図A)

また、LCDモニターアタッチメント底面の溝部に、LCDモニター接続ケーブルをはめ込むことができます。(図C)

[注] HV-400XG(E)には、LCDモニター(LM-5011N)および、LCDモニターアタッチメント、LCDモニター接続ケーブルは付属していません。



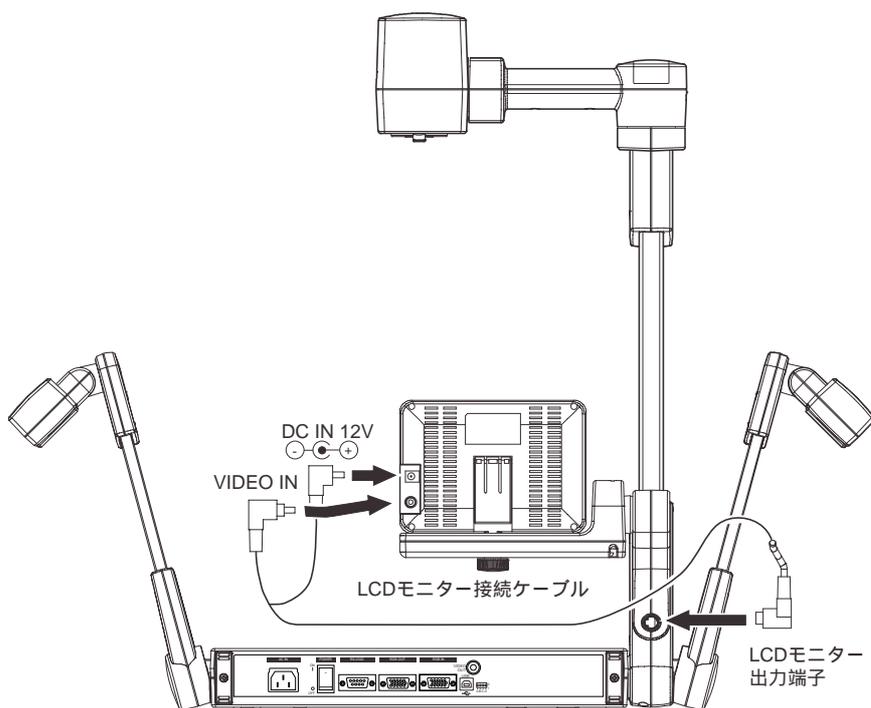
LCDモニター出力端子への接続について

本機LCDモニター出力端子を使用して、LCDモニター（LM-5011N）を接続することができます。

[注] LCDモニター出力端子へ接続するときには、コネクタの接続方向を確認してください。

[注] LCDモニター接続ケーブルを使用する場合は、LM-5011Nに付属のACアダプタおよびビデオケーブルは使用しません。

[注] LCDモニター（LM-5011N）および、LCDモニターアタッチメント、LCDモニター接続ケーブルは、HV-400XG（E）には付属していません。



パソコンリンクソフト「Image Mate for HV-400XG / 3000XG / 3500XG」について

「Image Mate for HV-400XG / 3000XG / 3500XG」をパソコンにインストールすることにより、次の操作ができます。

- ・パソコンへの画像データ転送
- ・パソコンによる本機の操作

詳しくは、「Image Mate for HV-400XG / 3000XG / 3500XG」のインストール説明書とCD-ROMの中の「manual.pdf」を参照してください。

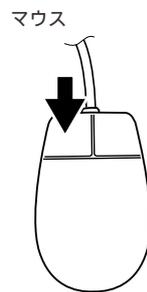
8. OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ)

OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ) とは、スクリーン上に表示される操作メニュー (以下OSDメニュー) を意味します。このOSDメニューによって、マウスによる本体の操作が可能となります。

[注] OSDは、RGB出力端子 [RGB OUT] の出力映像にのみ表示されます。
ビデオ出力端子 [VIDEO OUT] の出力映像には表示されません。

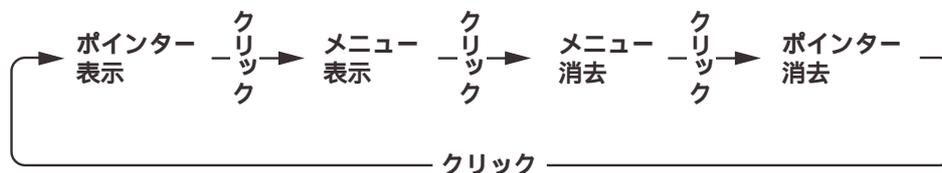
OSDメニューの表示とマウス操作について

マウスの左ボタンをクリックすると、OSDメニューとポインターが表示されます。
マウスで各機能の項目を設定します。



マウスでの操作方法は以下のようになります。

- ・左ボタン.....クリックするごとに、ポインターとメニューの表示・消去を行います。
またメニュー表示時に、OSDでの各項目の設定を行います。



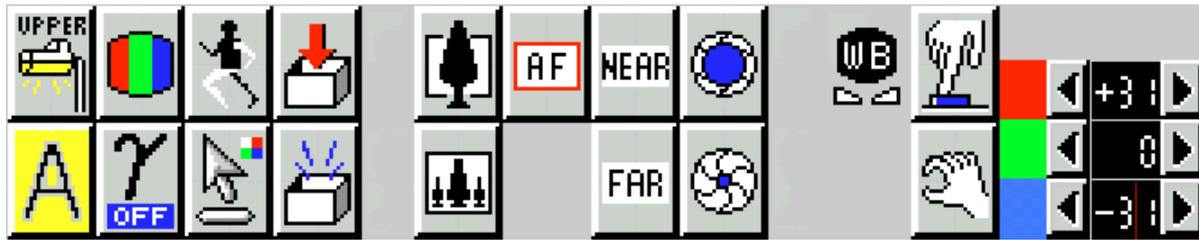
- ・右ボタン.....使用しません。

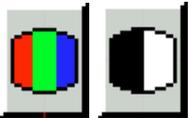
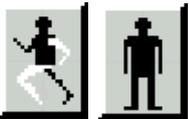
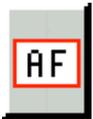
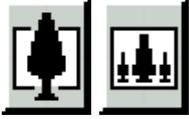
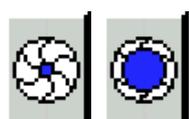
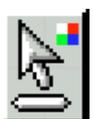
ポインターの操作方法については、P.20をご覧ください。

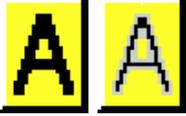
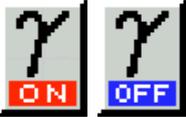
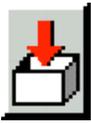
[注] OSD表示は、プロジェクターなどを使用して、大きな投影サイズでお使いになることを前提に設計されております。手元のモニターおよびテレビなどでは、表示が見えにくいことがあります。

OSDメニュー

OSDメニューの項目は、本体のフロント操作パネルおよびリモコンから設定できます。



アイコン	名称	機能
	資料照明切換	資料照明のON / OFFを切換えます。OSDメニュー立ち上げ時は、前回のセーブ内容に設定されています。マウスでこのアイコンを左クリックするごとに照明が、2灯 1灯(左) 消灯の順に切換わります。
	カラー白黒切換	画面のカラー / 白黒の設定を切換えます。OSDメニュー立ち上げ時の状態はカラーです。マウスでこのアイコンを左クリックすると、アイコンが変わり、白黒に設定されます。 [注] フリーズ時は動作しません。
	フリーズ	静止画 / 動画の設定を切換えます。OSDメニュー立ち上げ時の状態は動画です。マウスでこのアイコンを左クリックすると、アイコンが変わり、静止画に設定されます。 [注] フリーズ時に他の操作を行った場合、フリーズが解除されます。
	オートフォーカス	オートでフォーカスを合わせます。マウスでこのアイコンを左クリックすると動作します。
	ズーム 望遠 / 広角	レンズのズーム調整を行います。マウスでこのアイコンを押し続けると動作します。
	フォーカス NEAR / FAR	レンズのフォーカス調整を行います。マウスでこのアイコンを押し続けると動作します。
	アイリス 閉 / 開	レンズのオートアイリスレベルの調整を行います。マウスでこのアイコンを押し続けると動作します。
	ポインター	画面上のポインターの色と形を変更するときに使用します。マウスでこのアイコンを左クリックするごとに、ポインターの色は、白 赤 緑 青の順に切換わります。

アイコン	名 称	機 能
	ホワイトバランス	ワンプッシュホワイトバランスとマニュアルホワイトバランスが選択できます。
	ワンプッシュ	ワンプッシュホワイトバランスの設定になります。マウスで左クリックすると、そのときの色温度のホワイトバランスに固定します。
 	マニュアル	ホワイトバランスを RED GREEN BLUE で設定することができます。ボリュームバー横の矢印ボタンを左クリックして調整してください。 RED赤色成分の調整をします。(-31 ~ +31) GREEN ... 緑色成分の調整をします。(-31 ~ +31) BLUE青色成分の調整をします。(-31 ~ +31)
	アパーチャ切換 ON / OFF	映像のメリハリ（エッジ強調）を切換えます。OSDメニュー立ち上げ時の状態はONです。
	ガンマ切換 ON / OFF	ガンマ設定値（1.0 / 0.6）を切換えます。OSDメニュー立ち上げ時は、前回のセーブ内容に設定されています。 工場出荷時はOFF（1.0）に設定されています。
	状態保存	現在の状態・調整値を保存します。照明のON / OFF、アパーチャ、ガンマ、マニュアルホワイトバランスの RED GREEN BLUE の各ゲイン値、オートアイリスレベルを記憶します。
	初期化	調整値を工場出荷時に戻します。

通信仕様

- ・全二重調歩同期方式
- ・スタートビット : 1ビット
- ・データビット : 8ビット
- ・ストップビット : 1ビット
- ・パリティビット : なし
- ・Xパラメータ : なし
- ・ボーレート (通信速度) : 9600bps

通信コマンド一覧

動作	コマンド	パラメータ	データ	備考
オートフォーカス	AF	0		ワンショットオートフォーカスをするコマンドです。
オートホワイト バランス	AW	0		ワンプッシュオートホワイトバランスを行うコマンドです。
フォーカス 調節	FO	+ (NEAR) - (FAR) 0 (STOP)		フォーカス調整をするコマンドです。
ズーム調節	ZO	+ (TELE) - (WIDE) 0 (STOP)		ズームを調整するコマンドです。
アイリス調節	IR	+ (OPEN) - (CLOSE) 0 (STOP) 1 (NORMAL)		アイリス調整をするコマンドです。
照明切換	PL	0 (消灯) 1 (1灯) 2 (2灯)		照明装置の切換えをするコマンドです。
カラー / 白黒 切換	CB	0 (COLOR) 1 (B&W)		カラー / 白黒切換えをするコマンドです。
入力切換	AV	0 (MAIN) 1 (RGB1)		入力系統の切換えをするコマンドです。
ビデオポインター 表示	PO	0 (OFF) 1 (ON)		ビデオポインターの表示をON / OFFするコマンドです。
ビデオポインター 移動	PM	0 (STOP) 1 () 2 () 3 () 4 () 5 () 6 () 7 () 8 ()		ビデオポインターが移動します。 1 : 右側に移動 2 : 左側に移動 3 : 上側に移動 4 : 下側に移動 5 : 右上に移動 6 : 左上に移動 7 : 右下に移動 8 : 左下に移動

動作	コマンド	パラメータ	データ	備考
フリーズ	FZ	0 (OFF) 1 (ON)		映像を静止させるコマンドです。
ローカル ロックアウト	LL	0 (OFF) 1 (ON)		フロント操作パネルのスイッチおよびリモコンを無効にするコマンドです。
ガンマ切換	GM	0 (1.0) 1 (0.6)		映像のガンマ設定値を切換えるコマンドです。
アパーチャ切換	AP	0 (OFF) 1 (ON)		映像のメリハリ（エッジ強調）を切換えるコマンドです。
デフォルト	DF	0		初期設定の状態に戻すコマンドです。
ステータス要求	QS	0 2		機器の状態を問い合わせるコマンドです。
ROMバージョン	QR	0		ROMバージョンを参照するコマンドです。
応答データ選択 1	SA	0 (OFF) 1 (ON)		各操作コマンドに対する応答の有無を選択するコマンドです。デフォルトはONです。
応答データ選択 2	SC	0 (OFF) 1 (ON)		応答データの終わりにCR [0Dh] をつけるコマンドです。デフォルトはOFFです。

[注] データ中の「 」の部分は、SPACE [20H] を2回送信してください。

10. 蛍光ランプの交換

照明ランプ（蛍光ランプ）は消耗品ですので、チラツキだしたり暗くなったときは取り換えてください。

[注] ランプの交換は、お買い上げの販売店か最寄りの弊社支店・営業所までご相談ください。

11. 故障かな？と思ったら

現象	この点を確認してください
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・正しくビデオケーブルが接続されていますか。 ・電源プラグが壁側コンセントから外れていませんか。 ・電源コードが本機の電源受け口から外れていませんか。 ・電源スイッチが入っていますか。 ・ズームが望遠になって映している資料の白い部分（または黒い部分）だけを見ていませんか。 ・電源スイッチをOFFにした直後にONした場合は、機器が作動しないことがあります。電源OFF後、数秒おいてから電源スイッチをONにしてください。 ・入出力切換スイッチについて、接続機器に合った正しい選択がされていますか。（P.10、P.15 参照）
画像のピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿（被写体）がレンズに近づきすぎ、ステージ面から15cm以上の高さになっていませんか。 ・広角（ワイド側）でピントを合わせたのち、ズームを望遠側にしていませんか。 ピントは望遠最大の所で合わせてください。 ・オートフォーカスの場合、ピントが合わせにくい場合があります。
照明ボタンを押してもすぐに点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・ランプ保護のため、約2秒間予熱をした後点灯させています。故障ではありません。
映像が暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> ・照明が不足していませんか。照明ボタンを押してランプを点灯してください。
印刷物の映像に縞模様が出る	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷物の網点とテレビの走査線の干渉縞ではありませんか。
画像にフリッカが出る	<ul style="list-style-type: none"> ・50Hzで点灯している放電管の光が画面に入っていませんか。入出力切換スイッチの[C]キーを[1]側（50Hz）にすると軽減される場合があります。（P.10 参照）

以上のことをお確かめのうえ、異常があるときは、お買い上げの販売店か最寄りの弊社支店・営業所までご相談ください。

12. 仕様

総合仕様

項目	内容		
電源	AC100V 50Hz/60Hz		
消費電力	55W		
外形寸法	幅500mm 奥行612mm 高さ99mm (収納時) 幅706mm 奥行403mm 高さ575mm (セットアップ時)		
質量	6.5kg (本体のみ)		
出力端子	コンポジットビデオ出力	RCAピンジャック / 75 不平衡	×1
		LCDモニター接続端子 (ミニ DIN 9P)	×1
	RGB出力	ミニ DSUB 15P コネクタ メス	×1
入力端子	RGB入力	ミニ DSUB 15P コネクタ メス	×1
外部制御端子	RS-232 C	DSUB 9P コネクタ オス	×1
	USB	タイプB レセプタクル	×1

カメラ部仕様

項目	内容	
撮影レンズ	f =5.8mm ~ 58mm (光学10倍ズーム) F 2.8	
ズーム	光学10倍 倍速機能付電動ズーム	
撮像範囲	最大 横340mm 縦252mm 最小 横37mm 縦28mm	
焦点調節可能範囲	ステージ面 ~ ステージ面上150mm 0.5m ~ (カメラ横向き・クローズアップレンズなし)	
フォーカス	オート / マニュアル	
アイリス	オート (レベル調節可能) / マニュアル	
撮像素子	1 / 3型 CCD	
有効画素数	水平1024 垂直768	
総画素数	水平1077 垂直788 85万画素	
映像信号処理	デジタルシグナルプロセス (DSP)	
同期方式	内部	
解像度	RGB出力	水平600TV本以上 垂直600TV本以上
	ビデオ出力	水平400TV本以上 垂直400TV本以上
S / N	48dB	
映像出力レベル	RGB出力	信号周波数 XGA 水平周波数 48.363kHz 垂直周波数 60.004Hz (1024 x 768@60Hz) VESA準拠
	インターレース RGB出力	NTSC準拠 水平周波数 15.734kHz 垂直周波数 59.940Hz PAL準拠 水平周波数 15.625kHz 垂直周波数 50.000Hz
	コンポジット ビデオ出力	NTSC / PAL準拠
ホワイトバランス	オート / ワンプッシュ / マニュアル	
シャッター切換	可能 50Hz地域用 / 60Hz地域用 (1 / 15s、1 / 16.67s)	
カラー / 白黒切換	可能	

照明装置

項目	内容
照明	高周波点灯方式、ツイン蛍光灯 9形 (型名: FPL9EX-N)

付属品

・HV-400XG

名 称	数 量	
	HV-400XG	HV-400XG (E)
電源コード	1	1
ビデオケーブル (3m)	1	1
アナログRGBケーブル (BNCコネクタ)	1	1
VGAケーブル (ミニ DSUB 15P コネクタ)	1	1
マウス	1	1
CD-ROM 「Image Mate for HV-400XG / 3000XG / 3500XG」 (パソコンリンクソフト)	1	1
USBケーブル	1	1
CD-ROM 「Image Mate for HV-400XG / 3000XG / 3500XG」 インストール説明書	1	1
赤外線ワイヤレスリモコン (RCW-432)	1	1
リモコン和文操作パネル	1	1
単4形乾電池	2	2
HV-400XG取扱説明書	1	1
保証書	1	1
5型TFT液晶カラーモニターキット	1	-
液晶カラーモニター接続ケーブル	1	-
モニターアタッチメント	1	-

[注] RCAピンはEIAJ RC-6703準拠のピンプラグを使用してください。

[注] 仕様は予告なしに変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

XGAは、**米国** International Business Machines Corporationの登録商標です。

VESAは、Video Electronics Standards Associationの登録商標です。

ELMO、VISUAL PRESENTER / ビジュアルプレゼンター、FOCUSFREE、Image Mateは、**株式会社エルモ社**の登録商標です。

ご 注 意

スライド・書籍・写真等は個人で楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で録画できませんのでご注意ください。

この装置は、商工業地域で使用されるべき情報装置です。住宅地、またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に、受信障害を与えることがあります。

ELMO® 株式会社 エルモ社

製品のお問い合わせは、最寄りの弊社支店または営業所へ

本 社	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎(052)811-5131	〒467-8567
東京支店	東京都港区三田3丁目7番16号	☎(03)3453-6471	〒108-0073
名古屋支店	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎(052)824-1571	〒467-8567
大阪支店	大阪府中央区東高麗橋2番4号	☎(06)6942-3221	〒540-0039
九州支店	福岡市博多区冷泉町2番8号 朝日プラザ祇園2階	☎(092)281-4131	〒812-0039
北海道営業所	札幌市中央区北四条西15丁目1-40	☎(011)631-8636	〒060-0004
仙台営業所	仙台市青葉区中央4丁目10番14号 エノトセーフビル	☎(022)266-3255	〒980-0021
広島営業所	広島市中区小町5番8号 ドルチェ2階	☎(082)248-4800	〒730-0041

URL:<http://www.elmo.co.jp>



この用紙はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

re100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

6X1VHEJ01